

奨励賞

中小企業区分

東阪電子機器株式会社

※事業者の情報は応募時点(2018年)

所在地	東京都渋谷区恵比寿 1-3-1
業種	製造業
社員数	43名
受賞歴	なし
ウェブサイト	https://www.tohan-denshi.co.jp

全員「ECO GET」取り組みで世の中に幸福と驚きを届け続ける

取組の目的

弊社は創業以来 35 年間「モーションコントロール(※1)」をコア技術として、お客様の要望に応じて基板からコントロールユニット、組み込み装置など多種多様な製品をオーダーメイドで創り続けている老舗ベンチャーモノづくり企業です。

※1. モーションコントロール…「動きを制御する」という意味を持っており、代表として、各種モータによる位置制御などがあげられる。その技術は、工作機械、ロボット制御、半導体装置等の中核として大きな役割を担っています。

弊社が事業として取り扱っているモータは世界で発電される電力の約半分を消費していると言われております。その為、モータ全体のエネルギー効率を高め、電力消費量の削減することが非常に求められます。弊社は創業より 35 年、新たな製品を開発する際、「エネルギー効率を最大化する省エネ設計」を常に意識して実施してまいりました。つまりは「弊社事業」と「環境(省エネ)」は切っても切り離せない関係にあります。

そのような中、会社としてお客様に環境に良い製品を創ることで世の中に貢献するだけでなく、会社全体が率先して環境に対する意識を向上し、行動することで、更に世の中に貢献できるのではないかと考え、本取り組みを全社として取り組むことを決定致しました。

取組の実績

この 1 年の取り組みは、新たに実施した新取り組みと過去の取り組みの進化の 2 つに分けることができます。

新取り組み 1: 中期経営計画における進むべき環境取り組みの方針決定

弊社は今年で創業 35 年を迎え、今年度を第 2 創業期とし、新中期経営計画を策定致しました。弊社が 100 年先の未来も世の中から必要とされる企業となる為に、何が必要かを検討し、SDGs において No8「働き方も経済成長も」を目標設定し、社会的価値実現を目指すことを明文化しました。またそれに伴い、CSV 活動を加速することも方針として決定致しました。

新取り組み 2: 健康×環境 GET PJ 開始

弊社は 2017 年より健康経営を目指して全社で活動を開始しはじめました。その活動取り組みの中で、「健康経営」と「環境取り組み」が密接に絡み合っていることが分かってきました。その為、2017 年 11 月より健康経営取り組みメンバーとエコアクション取り組みチームを統合して「健康×環境 GET PJ」を開始しました。

この PJ では月 1 回従業員がモチベーション UP でき、且つ環境にも良い影響を与えることが出来る取り組みをメンバー間で話し合い PDCA を回していきます。この 1 年間で実行した取り組みは以下の通りになります。



「健康×環境 GET PJ」におけるメンバー会議の様子

1. Walking 月間の開催

9 月～11 月を Walking 月間と設定し、全社員参加で、1 日の Walking 歩数を競い合う取り組みを開始。この取り組みにより、普段は車やバイクで通勤していたメンバーが徒歩で通勤する等、地球環境に優しい取組が出来始めました。

2. 定期巡回 5S チェック隊

従来 5S は各部署単位で実施していたが、今年度はそれに加えて四半期ごとに統一し、5S 日を設定し、全社員一斉に 5S を実施することを決定。また統一 5S 実施後は各部署を見回り、工夫している取り組みの把握とより改善すべき箇所を確認し、各部署へその内容をフィードバックし、5S の質向上に努めています。

3. ペーパーレス取組

現在設計変更等の書類は技術部から紙で全部署に回覧されているが、1 製品の変更で何十枚の紙を消費している。そこで今後は PC を活用して PDF でデータを送付する方向へ

「環境 人づくり企業大賞 2018」受賞企業の取組事例

変更致しました。

既存取り組み進化1:エコアクション21 活動

1. エコアクション運用の徹底

毎月「健康×環境 GET PJ」において年度目標達成に向けての進捗状況の報告と改善取り組みの検討を実施しています。また其の他取り組みとしては以下の通りです。

- ・ 本年の実績確認(本社・大阪事業所の調査・まとめ):随時実施。
- ・ 審査員を通じての、環境に関する法規制などの情報交換:随時実施
- ・ 環境推進員会での、環境報告の実施:随時実施 更新審査・中間審査での実地審査:1回/年

2. エコカー、LED 照明導入による CO₂ 削減

過去よりエコカーを採用しておりましたが、数台はエコカーではありませんでした。今年度全ての車をエコカーに変更を実施し、それに併せて運転者のエコドライブ宣言を行いました。その結果、エコな運転の実施するよう意識の向上を図ったことにより燃費が約 30%UP いたしました。

また大阪事業所においては 2015 年に 480 本の蛍光灯照明を LED に変更実施し、今年度も継続採用しております。

3. デマンド監視装置導入によるピーク電力抑制

大阪事業所においてピーク時に照明・エアコン等使用電力抑制取り組みとしてデマンド監視装置を継続実施しております。今年の夏は予想以上に暑く、昨年度より高い目標を達成することは非常に困難でしたが、「そんな時だからこそ 目標達成」を合言葉に各フロアでこまめに照明・エアコンの消灯を実施。また離席時のハンダコテ・計測機器の電源 OFF やサーキュレータを効率よく利用し快適な作業環境(温度)の実現も実施致しました。

既存取り組み進化2:エコ製品の開発&営業加速

今年 5 月に数年ぶりに自社製品であるモーションコントローラ「ePI-06」を発売致しました。この製品の特長の一つは省エネであり、従来製品より最大 75%消費電力を削減することが可能となります。またこれらの製品価値が認められ、発売前に日刊工業新聞に掲載いただくことが出来ました。

また営業活動においても、積極的に環境関連の製品の受注活動を実施し、OEM(開発委託)製品事例として船の水を濾過するバラスト装置案件を受注し、現在対応実施しております。

成果・課題

新取り組み1:中期経営計画における進むべき環境取り組みの方針決定

「環境 人づくり企業大賞 2018」受賞企業の取組事例

今年度キックオフの方針発表会において中期経営計画の説明に加えて、社長より経営理念「温故創新」についての想い及びSDGsの方向性の発表を実施致しました。その結果、全社員が今後の会社の方向性を理解し、環境に対する意識を高めることが出来た点は非常に大きな成果であり、既存の取り組みを進化させることが出来たと考えております。



方針発表会の様子

新取り組み2:健康×環境 GET PJ 開始

新たな取り組みとして Walking 月間や 5S 定期巡回を実施することで、全社員が環境に対して考える機会が増え、その結果、部署を超えてのコミュニケーションが増加しました。また自主的に下記取り組みを強化することも出来ました。

- ・ 一般廃棄物資源(ダンボール)や産業廃棄物(金属、廃プラ含む)の再利用。特に産業廃棄物においては再利用可能な部品を廃棄前に確認し、使用可能なものをピックアップすることを徹底する。
- ・ グリーン調達の実施と自社製品の RoHS 対応の実施。弊社は常時 500 社の業者様と取引をしておりますが、その条件としてグリーン調達を重要視しております。また環境対応にも積極的に対応を実施し、現在 RoHS2 への取り組みも実施しております。

また課題としては社員の環境に対する意識は向上しているものの、社員間での意識レベルのバラつきがあるということです。今後更なる社員の意識を高めるような仕掛けや取り組みを検討していき、全社の環境への意識の底上げをはかっていく必要があると考えております。

既存取り組み進化1:エコアクション21活動

毎月エコアクション21メンバー中心に活動を実施し、大幅な CO₂ 及び電力の削減を実現いたしました。

1. エコカー導入により燃費が 30%向上し、前年度と比較して本社営業 1,205kg-CO₂ の削減、大阪営業 4,436kg-CO₂ の削減を達成。

「環境 人づくり企業大賞 2018」受賞企業の取組事例

2. LED 照明運用及び節電取組みにより前年度と比較して大阪事業所 16,746Kg-CO₂ の削減を達成3. デマンド監視装置導入により最大需要電力がピーク時 90kW 電力から 66kW へ低減(約 30%ダウン)前年度も 66Kw を維持。

既存取組み進化2:エコ製品の開発&営業加速

今回省エネの自社製品を発売したことで、今まで取引のなかった新規のお客様と接点を持つこと出来るようになり、新たなお客様の要望を獲得する事が出来、売上の向上(前年比 111%)及び今後の開発に活かすことが可能となりました。

その他の環境活動

また全体を通しての課題として「地域の環境活動への取組みを強化」である。

2015 年吹田市よりごみ減量・再資源化香料者部門の環境表彰を受けているものの、まだまだ地域を巻き込んだ新たな取組みが足りていないと考えております。今後は自社での取組の共有含めて、地域の方とのコミュニケーションを強化して いきたいと考えております。

今後の改善

今年度社員の環境に対する意識を向上することは出来ました。今後は会社として社員が具体的に行動を起こせるような仕組みや自ら手上げ出来る制度を構築していきたいと思っております。具体的には環境改善提案 BOX の設置や自社を超えて他社や地域の方との環境取組み DAY の開催。また環境に対する知識を向上する為の講演会の開催や ECO 検定の受験も実施していこうと思っております。

関連補足情報

2017 年度環境活動レポート

<http://ea21.jp/list/pdfn/0009773.pdf>

審査委員会からの講評

同社は電子機器の製造を行う従業員 43 名の企業である。電力消費量の削減から創業当初より「エネルギー効率を最大化する省エネ設計」を行い、環境に対する意識を向上させてきたことが今日の取組に繋がっている。環境取組と健康経営を掛け合わせた取組がユニークで、ウォーキング月間を設けて社員全員で歩数を競い合うなど、ゲーム性があり、通勤手段の変更が CO₂ 削減に繋がっている。また、「中期経営計画における進むべき環境取組みの方針決定」を全社員参加の中で決定している点やエコアクション21の活動も全社的に行われている点が高く評価できる。今後は地域を巻き込むなどの取組の深化や取組みの体系化を期待したい。